

令和3年度「隠岐広域連合地球温暖化対策実行計画」の取組結果について

1. 計画の概要

隠岐広域連合では事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスを削減するため、「第3期隠岐広域連合地球温暖化対策実行計画」（平成29～令和3年度）を策定し、対策に取り組んでいます。※この計画における温室効果ガスは二酸化炭素としています。

■令和3年度の取組結果は以下のとおりです。

（単位：t co2）

	平成27年度 （基準年度）	①目標値 （削減△3%）	②令和3年度 （実績）	比較増減 （②－①）
二酸化炭素	2,851	2,765	2,808	43

2. 温室効果ガスの排出状況

1) 主要項目別取組結果

■主要項目別では、液化石油ガス、廃棄ゴミ類についての排出量が目標値に比べて増加しています。

（単位：t co2）

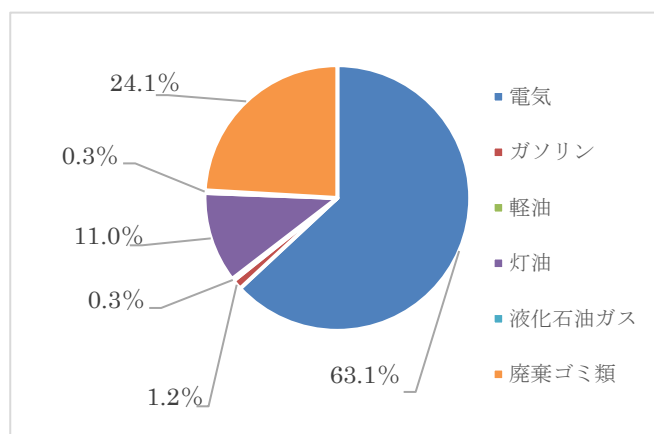
	平成27年度 （基準年度）	①目標値 （削減△3%）	②令和3年度 （実績）	比較増減 （②－①）
電気	1,853	1,797	1,771	△26
ガソリン	40	39	34	△5
軽油	12	11	8	△3
灯油	333	323	310	△13
液化石油ガス	5	5	9	4
廃棄ゴミ類	608	590	676	86

2) 要因別温室効果ガスの排出割合

■排出割合を見ると、電気が63.1%、廃棄ゴミ類が24.1%と多くを占めています。

（単位：t co2）

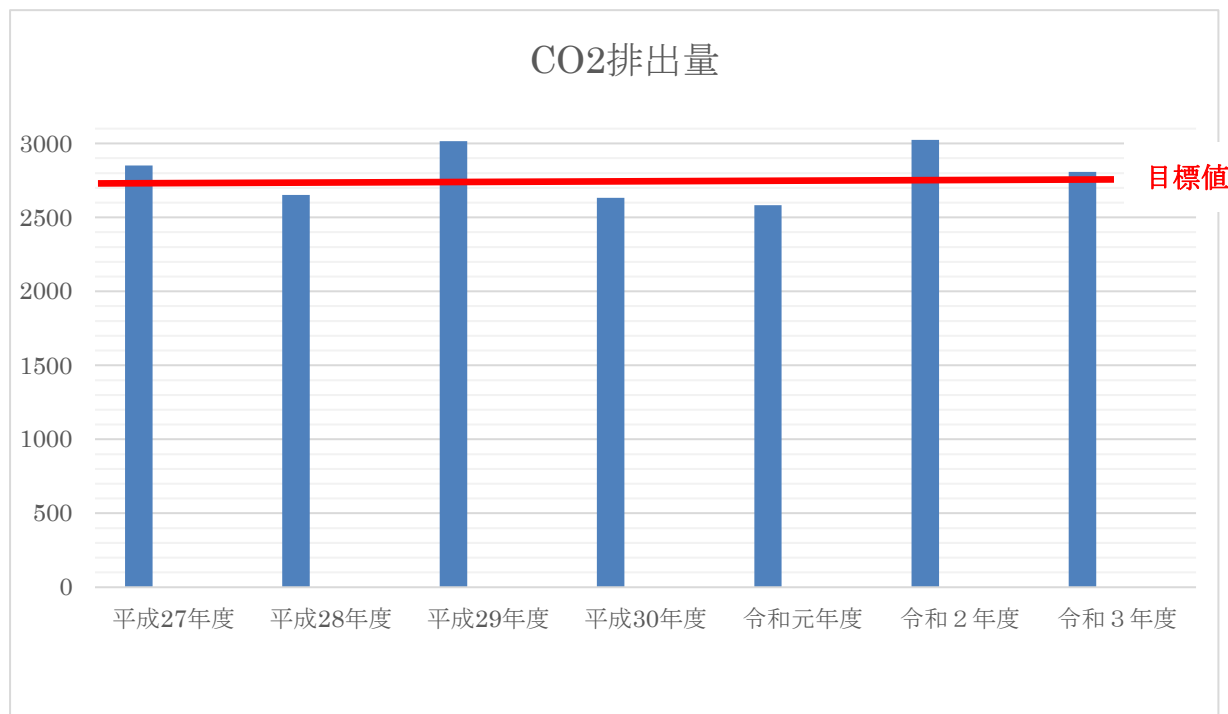
	令和3年度 （実績）	割合
電気	1,771	63.1%
ガソリン	34	1.2%
軽油	8	0.3%
灯油	310	11.0%
液化石油ガス	9	0.3%
廃棄ゴミ類	676	24.1%



3) 取り組みの推移

■令和3年度は基準年度と比較して2.5%の減少、目標値と比較して1.6%の増加となっています。

(単位：t co2)



3. 取組結果の状況

隠岐広域連合の温室効果ガスの総排出量は目標値に比べ増加しました。

要因としては、新型コロナウイルス感染対策における廃棄ゴミ類の増加が考えられます。

4. 「第3期隠岐広域連合地球温暖化対策実行計画」のまとめ

平成27年度のCO2排出量を基準値として、3%のCO2排出量の減少を平成29年から令和3年度の期間で目指してきました。令和元年度までは、CO2排出量を目標値より減らすことが出来ましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、令和2年度以降は目標値よりも高い水準となってしまいました。

未だに新型コロナウイルスが全国的に流行し、医療現場等で厳しい現状が続いておりますが、職員一人ひとりが日常的に省エネ・省資源に取り組むことにより、温室効果ガスを削減することができます。引き続き、地球温暖化対策への意識を忘れず、光熱費等の削減に取り組んでいきます。